



「4次元プロジェクト」

THE 4D PROJECT

平成26年11月22日(土)～平成27年1月12日(月・祝)
休館日: 月曜日、12月29日～1月3日 [11月24日(月・祝)は開館、翌日は開館]
開館時間: 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料: 大人/800円 高大生/550円 中学生以下無料
〔前売は各200円引 団体(20名以上)は各100円引〕
70歳以上、身障者は、証明できるものを提示により無料

 **尾道市立美術館**
ONOMICHI
CITY MUSEUM
OF ART
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281
ホームページアドレス <http://www7.city.onomichi.hiroshima.jp/>

平成26年11月22日(土)
平成27年1月12日(月・祝)
November, 22nd, 2014
to January, 12th, 2015

The artists of the Pavillon Neuflyze OBC

パヴィヨン・ヌフリズOBCのアーティスト

Aung-Ko アウン・コ
Basma Alsharif バスマ・アルシェリフ
Charbel-joseph H. Boutros シャルベル＝ジョセフ・H.ブトロス
Jonathan Martin ジョナタン・マルタン
Shelly Nadashi シェリー・ナダシ
Keiichiro Shibuya 渋谷慶一郎

With the participation of Ange Leccia アンジュ・レッチアの参加を得て

「4次元プロジェクト」 THE 4D PROJECT

Alice: **Would you tell me, please, which way I ought to go from here?**

アリス: 教えていただきたいのです、ここからどっちへ行ったらいいのかしら。

The Cheshire Cat: **That depends a good deal on where you want to get to.**

チェシャ猫: それは、君がどっちへ行きたいかってことでだいたい決まるさ。

Alice: **I don't much care where.**

アリス: どこだって別にかまわないのだけれど。

The Cheshire Cat: **Then it doesn't much matter which way you go.**

チェシャ猫: なら、どっちへ行こうと別にかまわないさ。

Alice: **...So long as I get somewhere.**

アリス: ……でも、どこかにはたどりつきたいの。

The Cheshire Cat: **Oh, you're sure to do that, if only you walk long enough.**

チェシャ猫: そりゃ、どこかにはたどりつくさ、たどりつくまで歩きさえすればね。

From Lewis Carroll's *Alice's Adventures in Wonderland*, 1865.

ルイス・キャロル『ふしぎの国のアリス』(1865)より

Palais de Tokyo is one of the largest art centers in Europe, devoted to contemporary creativity. Among its activities, it counts with the Pavillon Neuflyze OBC, a residency program created in 2001 by the artist Ange Leccia, who has remained at the helm as its director ever since. This international program welcomes six artists working in a variety of disciplines, for a duration of eight months. The artists are invited to develop their practices through collective and individual projects. Every year, a workshop abroad constitutes the opportunity to reflect, question and produce artworks in a foreign context.

パレ・ド・トーキョーは、現代芸術の創造を目的とした、ヨーロッパで最大規模のアート・センターの一つである。その活動の中で、アーティスト、アンジュ・レッチアが2001年に始めたレジデンス・プログラム、パヴィヨン・ヌフリズOBCは重要なものである。レッチアは、プログラム開始以来、ディレクターとしてこのプログラムを指導している。この国際プログラムは、期間は8か月、様々な分野で活躍する6人のアーティストを受け入れている。集まったアーティストたちは、グループ企画、及び、個人企画を通して、自分たちの創作活動を展開することを旨として招かれる。毎年の海外ワークショップは、パリとは異なったコンテキストの中で、芸術作品を照らし出し、問いにさらし、そして創作する機会となっている。

Fabien Danesi : Curator and program director of the Pavillon Neuflyze OBC ファビアン・ダネシ : パヴィヨン・ヌフリズOBCのキュレーター及びプログラム・ディレクター

Yukiko Ito : Curator 伊藤由紀子: キュレーター

Ange Leccia : Director of the Pavillon Neuflyze OBC アンジュ・レッチア: パヴィヨン・ヌフリズOBCのディレクター

Chloé Fricout : Coordinator and producer of the Pavillon Neuflyze OBC クロエ・フリクー: パヴィヨン・ヌフリズOBCのコーディネーター及びプロデューサー

Justine Emard : Audiovisual assistant of the Pavillon Neuflyze OBC ジュスティエヌ・エマルド: パヴィヨン・ヌフリズOBCの音響・映像関係助手

Atsonubu Kohira : Exhibition assistant 小平篤乃生: 展覧会助手

The Pavillon Neuflyze OBC benefits from the support of NEUFLYZE OBC, Ministère de la Culture et de la Communication, INSTITUT FRANCAIS, Cité Internationale des Arts パヴィヨン・ヌフリズOBCはヌフリズOBC、文化・通信省、アンスティチュ・フランセ、財団法人国際芸術学生寮の支援を受けている。

主催: 尾道市立美術館 中国新聞備後本社

後援: Embassy of France / Institut français du Japon 広島県 尾道エフエム放送 尾道ケーブルテレビ

企画協力: Palais de Tokyo NPO法人おのみちアート・コミュニケーション

協力: 広島市現代美術館

ご利用案内

● JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。
(ロープウェイのりばで、「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。

● お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。

● JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。



PALAIS DE TOKYO

LE PAVILLON NEUFLYZE OBC

Under the auspices of the Embassy of France/Institut français du Japon
後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
90th ANNIVERSAIRE DU PARTENARIAT CULTUREL FRANCO-JAPONAIS
90
90th Anniversary of Franco-Japanese Cultural Partnership
1924-2014